



↑開発に携わった皆さん。発売日に合わせ美食。

官民と「羽咋の伝説」がコラボ 「はねくう羽咋」を発売

自然栽培を推進する羽咋市。4月29日、自然栽培米の米粉を主原料とする新しいお菓子「はねくう羽咋」が市内4製菓店で発売されました。

1年の開発期間で羽咋市出身のフードアーティストやグラフィックデザイナーが知恵を絞り、官民連携での開発が話題となっています。メインとなるお菓子の形は羽咋高校生徒の感性が取り入れられました。羽咋神社の祭神「磐衝別命」が怪鳥を倒した際、お供していた犬が羽に食らい付いた伝説に目を付けました。

値段は1,100円(税抜き)で、怪鳥伝説を再現したパッケージの中に能登の塩がほんのり効いたポップライスを敷き詰め、白と黒の6枚の羽型の焼き菓子が上品に並べられています。ぜひ一度味わってみてください。

声 (耳)

読者のみなさんからの声を紹介します。

5月1日号への感想

ゴールデンウィークに帰省してきた家族と「ふじの咲く丘」の夜間ライトアップを見に行ってきました。ほのかに香る美しい藤の花と華麗なイルミネーションに家族全員大満足でした。来年も楽しみです。(40代・女性)

毎年10万を超える人が訪れる「ふじまつり」。今年も大盛況で終わりました。帰省してきた家族との久しぶりの再会。ふじの花言葉には「歓迎」などもあるのでぴったりの場所ですね。ぜひ来年もお越しください。

広報の最後で必ず見る藤岡市の人口。どんな減っている現状を見ると何とかしなければと思います。

藤岡市はインターを含め環境には恵まれているはずですが、何が課題なのか市民全員で考えることが必要です。私もSNSなどを活用し、アピールしていきます。(50代・男性)

市内には近くにいと分らない魅力がたくさんあります。魅力あるまちづくりのためにも、みんなで藤岡のいいところを発信していきましょう。

マスのつかみ取りに行ってきました。子どもたちは大喜び！川でたくさん遊びました。自然とたわむれ、のんびりした休日をご過ごしました。(40代・女性)

子どもたちにとって自然の中で遊ぶのは楽しいでしょうね。山に川に自然が近くにあるので、遊びに出掛けてみてください。

この他に一通のお便りをいただきました。ありがとうございます。文章は紙面の都合上要約させていただきます。ご了承ください。

プレゼント

皆さんの声を募集します。本紙への感想、身の回りであった出来事や日常生活で感じたことなどをお寄せください。「まちの声」で紹介いたします。

※個別の回答はしません

応募・問い合わせ ハガキかメールに住所、氏名、性別、年齢、電話番号を明記して〒375-8601(住所不要)市役所秘書課広報広聴係「まちの声」応募係・✉hisyo@city.fujioka.gunma.jpへ

お便りをくれた人の中から藤岡ボウルより「2ゲーム無料券」を10人にプレゼント。応募締切は6月15日(水)当日消印有効です。

※当選者の発表は10日前後で、引換券の発送ももってかえさせていただきます。



ボウリング 2ゲーム無料券

1人でも、仲間と一緒にでも楽しくできるボウリング無料券です。

地域に根差した昔ながらのボウリング場。ミニゲームなどのイベントも開催中。気軽に家族や友人とわいわい楽しむボウリングはいかがですか。

藤岡ボウル

藤岡市上大塚1730-6 ☎242570
営業時間/10:00~22:00(土曜は~24:00)

プレゼントの提供者を募集しています。
秘書課広報広聴係(☎2208)までご連絡ください。



「劇場型」勧誘に注意!

Q 知らない会社から「市内に老人ホームができる。市民しか権利を買えず困っているので名義を貸してほしい」と言われ貸しました。後日老人ホームから「名義貸しは違法行為だ。100万円を払えば名前を消す」と言われ、宅配便で現金を送ってしまった。どうしたらいいでしょうか。

A 役割を分担し「演劇」のように巧妙に仕組まれた勧誘を行うことから劇場型勧誘と呼ばれています。「名前を貸すだけ」と説明があっても、後からさまざまな口実で金銭を要求されます。不安に感じても絶対に払ってはいけません。郵送や手渡しで現金を渡した場合、取り戻すことは極めて困難になります。このような場合は早急に警察に相談してください。

消費生活の相談は消費生活センター

☎☎兼用201133(来庁相談要予約)
相談時間 平日午前9時~午後4時

nostalgic あの頃



鬼石市街地 年代：昭和30年代後半
写真：市役所保存

↑60年前の鬼石中心市街地の様子。道には多くの店が軒を連ねているため、交通安全に配慮し、入口には「市街地徐行」の看板があります。下久保ダムの建設が行われた30年代後半には多くの車やバイクなどが行きかう様子が見られます。

昔懐かしい写真を募集しています。写真はデータを保存してお返しします。
問い合わせ 秘書課(☎2208)

編集後記

大 学進学を契機に藤岡を離れ、今年二十歳を迎えたわが娘。卒業後にUターンする気配が感じられない。これからのまちづくりには若者の力が不可欠なのに。父親としても帰ってきてほしいのですが。(高橋)

今 月は環境月間。ハイブリッド車に乗っている私はちょっとだけ地球にもお財布にも優しいエコな生活をしています。でもさらに上を行くのは自転車や徒歩です。最近怠けていたエコ通勤、復活します。(黒澤)

元 気人の押森さん。昔から生かそうと熱意を話してくれました。自分の好きな趣味が何かの役に立つかも考えるとうれしいですね。私も何か趣味を見つけてゆかな。(上原)

藤 の季節が終わりました。甘い香りに誘われて、花の周りには大きい蜂が。攻撃しなければ刺されることは少ないそうですが、毎年恐怖を感じながら取材をしています。(坂本)